

2 市 の 沿 革

年 号	西 暦	で き ご と	
昭和 29.	7. 1	1954	狭山市誕生、市役所開庁式を挙行。
	8. 15		初代市長に石川求助氏が就任。
	10. 15		市制施行記念式典を挙行。
	10. 23		「さはりの壺」が、県指定文化財になる。
	12. 18		狭山市紋章を制定。
30.	4. 1	1955	連合消防団を統合し、狭山市消防団が発足。
	4. 30		市制施行後、初の市議会議員選挙。
	7. 10		「狭山市政だより」創刊号を発行。
	11. 1		「梅宮神社の甘酒祭」が、県指定文化財になる。
	12. 17		狭山市工場誘致条例を制定。
31.	3. 15	1956	県下初の入間川小学校木造防音校舎が完成。
	5. 5		狭山市体育協会が発足。
	8. 6		新富士見橋が完成し、開通。
	9. 28		工場誘致第 1 号の日本クロス工業（ダイニック）敷地決まる。
32.	4. 1	1957	狭山市文化財保護条例を制定。
	11. 3		第 1 回市民文化祭を開催。
	11. 23		第 1 回市民体育祭を開催。
	12. 1		市内 5 箇所の支所廃止にともない、出張所を設置。
	12. 20		新市建設 10 箇年計画の大綱決まる。
33.	3. 20	1958	「入曽の獅子舞」が、県指定文化財になる。
	8. 1		航空自衛隊入間基地が発足。
	12. 20		市役所庁舎（旧第 2 庁舎）が完成し、市民に公開。
34.	3. 20	1959	「篠井家文書」が県指定文化財になる。
	9. 26		伊勢湾台風通過、全壊家屋 20 戸、半壊家屋 62 戸、その他破損家屋約 2 千戸に及び、農作物の 80%が被害を受ける。
	11. 1		上水道配水池が稲荷山に完成。
35.	10. 1	1960	柏原・水富中学校と入間川中学校の一部を統合して西中学校開校。
	11. 3		市内初の入間川小学校鉄筋防音校舎の建設（第一期）に着工。
	11. 7		川越・狭山工業団地の造成計画決まる。
	12. 11		狭山電報電話局が開局し、自動式（ダイヤル式）になる。
36.	2. 12	1961	狭山市文化協会が発足。
	5. 6		入間川小学校の鉄筋防音校舎（第一期）完成。
	9. 1		「堀兼の井」が、県指定文化財になる。
37.	4. 1	1962	県立狭山工業高校が、旧水富中学校を仮校舎として開校。

年 号	西 暦	で き ご と
昭和 37. 4. 1	1962	奥富中学校と入間川中学校の一部を統合して東中学校が開校。
7.		川越・狭山工業団地の土地区画整理事業始まる。
11. 17		航空自衛隊入間基地で、第1回航空祭を開催。
38. 4. 1	1963	国道16号線のバイパス開通。
4. 10		「狭山市政だより」を「広報さやま」と改称。
4. 12		入間川小学校鉄筋防音校舎の全工事完成。
8. 12		都市計画用途地域、および都市計画街路決まる。
39. 7.	1964	市内初の信号機を新富士見橋南側交差点と鶴ノ木交差点に設置。
9. 19		狭山郵便局の新局舎が、旧入間川町役場跡に完成し、業務開始（現社会福祉会館）。
11. 14		新狭山駅が開業。
11. 15		本田技研狭山工場が操業開始。
40. 4. 1	1965	県立狭山高校が、旧入間川中学校を仮校舎として開校。
5. 20		川越・狭山工業団地の新町名が「新狭山」と決定。
6. 1		入間川・柏原・水富の各農協が合併して、狭山市農協が誕生。
7. 5		入間川小学校に簡易プールが完成。
41. 1. 10	1966	狭山市名誉市民条例を制定。
2.		ごみ焼却場が完成し、運転開始。
6. 17		第1浄水場が鶴ノ木に完成。
7. 20		川越・狭山工業団地の土地区画整理事業終わる。
8. 15		2代目市長に町田佐一氏が就任。
11. 1		狭山市消防署が発足。
11. 3		入間基地で、第1回国際航空宇宙ショーを開催。
42. 3. 24	1967	狭山市振興計画審議会条例を制定。
3.		昭代橋のかけ替え工事が完成し、開通。
4. 1		市内初の都市公園が、新狭山に誕生。
4. 13		市立衛生学院が開校。
5.		稻荷山配水場が完成。
6. 20		狭山市振興計画審議会を設置。
43. 3. 4	1968	狭山市振興計画の大綱決まる。
5.		市内初の歩道橋が、入間川駅前通りに完成。
7. 1		市民プールがオープン。
8. 30		市の人口、5万人を突破。
11. 2		中央公民館が完成。
44. 2	1969	市営水道の給水戸数が1万を突破。

年 号	西 暦	で き ご と	
昭和 44.	3. 31	1969	都市計画道路工業団地・日高線が一部開通。
	4. 16		老人福祉センター「宝荘」が完成し、開館。
	4. 22		上広瀬の今宿遺跡発掘調査を開始。
	10. 25		市制施行 15 周年記念式典を挙げる。
45.	4. 2	1970	狭山市交通指導員制度が発足。
	5. 24		第 19 回埼玉県身体障害者スポーツ大会（パラリンピック）を狭山高校で開催。
	8. 1		市立図書館が開館。
	11. 16		七曲井発掘調査を開始。
	12. 22		市議会が 15 年間にわたる狭山市総合振興計画基本構想を議決。
46.	4. 1	1971	自治協力員制度が発足。
	5. 17		初の光化学スモッグ警戒報（注意報）が、狭山市を含む県南に発令される。
	8.		狭山工業団地の造成はじまる。
47.	2. 12	1972	市立武道館が完成し、開館。
	5. 1		学校給食センターが完成し、全校に完全給食を実施。
	7. 30		入間川商店街に、歩行者天国が誕生。
48.	2. 6	1973	智光山公園事業認可。
	2. 22		狭山工業団地の造成終わる。
	6. 29		ハイドパークを含む、ジョンソン基地が日本政府に返還される。
	7. 4		狭山・忠武姉妹都市結縁締結。
	9. 28		ハイドパーク返還促進市民大会を開催。
49.	3. 1	1974	ハイドパークの管理委託について、国と契約を締結する。
	10. 26		市制施行 20 周年記念式典を挙げる。この席上で狭山市民憲章、狭山市歌、市の花（つつじ）、市の木（茶の木）、市の鳥（おなが）の制定を発表する。
	11. 1		緑化推進の一環で、市民記念植樹を開始。
	12. 7		笹井ダム下流からメタセコイアの埋没林を発見。
50.	3. 27	1975	笹井団地が完成し、入居が始まる。
	4. 1		市史編さん事業に着手。
	11. 26		西武新宿線入間川駅までの複線化が完成。
	12. 6		市の人口、10 万人を突破。
51.	6. 29	1976	ハイドパークの常時開園始まる。
	7. 18		小島三恵子さん（市内南入曾）が、ミスインターナショナル日本代表に選ばれる。
	12. 13		児童館が完成、開館。
52.	2. 7	1977	智光山公園整備事業を開始。

年 号	西 暦	で き ご と	
昭和 52.	6. 10	1977	狭山市勤労福祉センターが完成し、開館。
	7. 15		中央児童館にプラネタリウム・大口径天体望遠鏡が完成。
	12. 21		第二学校給食センターが完成。
53.	3. 31	1978	工業団地・日高線（慈眼寺・埼玉銀行間）が完成。
	9. 1		智光山公園テニスコートがオープン。
	9. 7		狭山市が県の「文化行政モデル市」の指定を受ける。
54.	3. 25	1979	西武新宿線入間川駅が「狭山市駅」に駅名を変更。
	4. 10		狭山勤労者体育センターが開館。
	5. 27		第1回ふれあい広場開催。
	11. 10		市民会館が落成。市制施行25周年記念式典を挙げる。
55.	2. 15	1980	第1回福祉大会を開催。
	4. 1		狭山養護学校設立。
	9. 30		智光山荘オープン。
	11. 9		商工会館落成。
	11. 23		第1回狭山市ゲートボール大会を開催。
56.	3. 26	1981	つつじ野団地入居開始。
	4. 1		武蔵野短期大学が開学。
	4. 1		西武学園文理高等学校が開校。
	4. 13		ジョンソン基地跡地利用計画処理大綱（大蔵案）提示。
	5. 7		狭山栄養大学講座開校。
57.	4. 1	1982	狭山清陵高等学校が開校。
	4. 1		秋草学園高等学校が開校。
	5. 27		軽費老人ホーム「柏苑」オープン。
	8. 15		社団法人シルバー人材センター狭山市高齢者事業団が発足。
	10. 16		第1回緑化祭を開催。
	11. 6		第36回全国お茶祭りを市民会館で開催。
	11. 7		第1回市内全域あき缶拾いを実施。
58.	4. 1	1983	狭山・入間市との行政境界変更（基地返還跡地内）
	4. 1		市民総合体育館開館。
	4. 3		身体障害者スポーツ大会を開催。
	5. 28		埼玉県植樹祭を智光山公園で開催。
	7. 3		休日診療急患センター診療開始。
59.	6. 15	1984	憩いの家開所。
	7. 5		保健センター活動開始。
	10. 17		入間市と狭山市を結ぶ縦貫道路が一部開通。

年 号	西 暦	で き ご と
昭和 59. 11. 3	1984	市制施行 30 周年記念式典を挙る。
11. 18		狭山産業・市民まつりを開催。
60. 4. 1	1985	狭山経済高等学校が開校。
7. 21		3つ目の市営プールがフラワーヒルにオープン。
9. 26		第2次狭山市総合振興計画が決まる。
11. 6		狭山市高齢者事業センターが完成。
11. 9		狭山市農村環境改善センターが完成。
61. 4. 1	1986	都市緑化植物園が全面オープン。
4. 1		町田佐一市長が逝去。
4. 1		東京家政大学狭山校舎開学。
4. 10		狭山市行財政改革の大綱が決まる。
5. 3		こども動物園が一部開園。
5. 6		新庁舎が開庁。
5. 18		3代目市長に大野松茂氏が就任。
10. 20		狭山警察署が完成し、稲荷山に移転。
12. 20		工業団地・日高線全面開通。
62. 3. 28	1987	狭山大橋が開通。
4. 1		リサイクルセンターがオープン。
4. 29		新狭山公園の野球場とテニスコートにナイター施設完成。
9. 9		市の人口が 15 万人を突破。
10. 1		狭山保健所がオープン。
12. 6		第1回リサイクル・フェスティバルを開催。
63. 4. 1	1988	出張所でオンライン事務処理開始。
4. 1		埼玉女子短期大学が開学。
4. 1		文理情報短期大学が開学。
4. 1		社会福祉会館がオープン。
4. 8		入間野中学校が開校。
4. 29		第1回狭山新茶と花いっぱい祭りを開催。
5. 1		水野公民館がオープン。
5. 1		第4児童館がオープン。
7. 2		公共下水道新河岸第一処理分区工事に着手。
7. 3		図書館が旧庁舎跡地にオープン。
7. 24		南入曽公園プールがオープン。
平成元. 1. 8	1989	昭和天皇の崩御により元号が昭和から平成に変わる。
5. 3		こども動物園にさる山が完成し、全面オープン。

年 号	西 暦	で き ご と		
平成元.	5. 22	1989	特別養護老人ホーム「さやま苑」がオープン。	
	6. 1		狭山商工会議所（県内 15 番目）が発足。	
	7. 8		市内、7 本目の橋「広瀬橋」が開通。	
	11. 2		忠武市の成福市長一行が狭山市を訪問。	
	11. 3		市制施行 35 周年記念式典を挙げる。	
	12. 22		平和都市宣言。	
	2.	1. 1	1990	公文書公開制度がスタート。
		3. 29		東京狭山線が供用開始。
		4. 2		市内 4 農協が合併スタート。
		11. 11		第 1 回さやま大茶会を開催。
	3.	2. 1	1991	狭山市施設管理公社設立。
		3. 30		清掃センター（新 1 号炉）が完成。
4. 1			第 2 次狭山市中期基本計画スタート。	
5. 19			狭山市国際交流協会設立。	
5. 21			狭山市観光協会設立。	
7. 1			教育センターがオープン。	
11. 1			博物館がオープン。	
4.		3. 31	1992	市の人口が 16 万人を突破。
	4. 1		粗大ゴミ戸別収集、有料化開始。	
	10. 1		富士見公民館オープン。	
	11. 1		健康都市宣言（すこやかさやま宣言）。	
	12. 9		市役所 1 階に福祉の店（アミー）がオープン。	
	5.	3. 1	1993	市役所の完全週休 2 日制を実施。
3. 19			狭山台さくら野団地が完成。	
4. 1			狭山市生涯学習基本計画スタート。	
4. 1			在宅介護支援センター（さやま苑内）を設置。	
4. 1			西武学園文理中学校が開校。	
7. 15			複合施設として狭山台図書館・体育館、プールがオープン。	
9. 30			諏訪団地が完成。	
10. 17			さやま生涯学習フェスティバルを開催。	
12. 6			西武新宿線へ特急電車（狭山市停車）が運行開始。	
6.		2. 17	1994	こども動物園の入園者が 100 万人を突破。
	4. 1		狭山市老人健康福祉計画がスタート。	
	5. 18		4 代目市長に町田潤一氏が就任。	
	8. 11		国道 299 号線（飯能～狭山バイパス）が一部区間開通。	

年 号	西 暦	で き ご と
平成 6. 9. 2	1994	生涯学習の一環として、小・中学校で学校開放講座開始。
11. 3		市制施行 40 周年記念式典を挙行。
11. 3		市の愛称が「お茶香るまち」と決定。
11. 3		交通安全シンボルマークが決定。
7. 1. 22	1995	阪神・淡路大震災の被災地に対し、支援活動開始。
3. 5		日本で初めてのペットボトルロケット打ち上げ大会を狭山市で開催。
3. 9		お年寄りと子供たちとの「ふれあい給食」がスタート。
3.		狭山の男女共生プランを策定。
4. 1		赤坂の森公園の利用開始。
8. 1		新富士見橋側道橋工事が完成、開通する。
10. 1		統営市で（旧忠武市）で、姉妹都市結縁関係の継承に関する確認宣言書に署名調印。
10. 1		ダイアプラン構成市（所沢・飯能・狭山・入間）の図書館の相互利用がスタート。
11. 1		狭山市自転車等の放置の防止に関する条例を一部施行。
8. 1. 19		1996
1. 25	在宅介護支援センターがサービス開始。	
2. 29	都市計画道路・上諏訪下広瀬線が開通。	
2. 29	入曽駅西口の改札口が利用開始。	
3. 26	圏央道（青梅 I C～鶴ヶ島 J C T）が開通。	
4. 1	第 2 次狭山市後期基本計画がスタート。	
4. 1	狭山市第二環境センター焼却炉の業務を開始。	
4. 1	いるま野農協が合併スタート。	
7. 24	大規模災害に備え、神奈川県厚木市と災害時相互応援協定を締結。	
11. 1	ダイアプラン構成市（所沢・飯能・狭山・入間）の公共施設を 4 市民が共通条件で相互利用を開始。	
11. 2	リサイクル都市・狭山を宣言。	
9. 1. 27	1997	狭山市食品衛生協会と災害時における応急食料供給等の協力に関する協定を締結。
1. 30		国内で初めての友好交流都市を新潟県津南町と調印。
3. 23		ペットボトルロケット全国大会を開催。
4. 1		市内全域で古紙・古布の収集を開始。
5. 6		特別養護老人ホーム「むさしの園」がオープン。
5. 21		狭山郵便局と災害時における協力に関する覚書を締結。
7. 1		水野公民館内に市民サービスコーナーがオープン。

年 号	西 暦	で き ご と
平成 9. 12. 24	1997	新消防庁舎が完成、運用を開始。
10. 1. 22	1998	県内初、消防署からケーブルテレビを通じて各家庭に緊急情報を届ける「緊急情報提供システム」が稼働。
2. 1		狭山ふれあい健康センター（サピオ稲荷山）がオープン。
3.		狭山市緑の基本計画を策定。
3. 30		女性消防協力隊が発足。
4. 1		環境基本条例を施行。
4. 1		特別養護老人ホーム「つつじの園」がオープン。
4. 29		福祉循環バス「茶の花号」運行開始。
5. 1		さやまファミリー・サポート・センター開設。
5. 21		杭州市茶製品視察団が来市。
5. 28		国際環境自治体協議会（イクレイ）に加入。
6. 18		学校給食にお茶を活用した「狭山茶オ・レ」が登場。
6. 29		狭山市ダイオキシン類問題対策推進検討委員会が発足。
7. 1		広瀬公民館内に市民サービスコーナーがオープン。
7. 21		県内初、医師会・歯科医師会・薬剤師会・接骨師会・助産所と災害時の医療救援活動の協定を締結。
9. 1		小学校の余裕教室を利用した狭山台南学童保育所を開設。
11. 3. 16	1999	狭山市駅市民サービスコーナーがオープン。
3.		事業所古紙共同回収システムがスタート。
3.		狭山市障害者福祉計画を策定。
3.		狭山市児童育成計画（エンゼルプラン）を策定。
4. 1		全国初の目標値を設定した執行部提案の「狭山市ダイオキシン類の排出の抑制に関する条例」が施行。
6. 1		市内3番目の老人福祉センター「不老荘」が南入曾にオープン。
7. 30		財狭山ささえあい福祉公社設立
10. 1		清潔できれいなまちづくりを推進し、快適な生活環境を確保するため、「狭山市ポイ捨ての防止に関する条例」が施行。
10. 16		図書館の蔵書検索、図書館案内などを自宅で見られる、インターネット蔵書検索システムがスタート。
11. 1		アメリカ合衆国オハイオ州ワージントン市と姉妹都市を締結。
11. 3		市制施行45周年記念式典を市民会館で挙行。
11. 22		航空自衛隊入間基地所属の航空機が墜落。
12. 2. 8	2000	不老川流域対策推進協議会が設立。
3. 1		特別養護老人ホーム「オリーブ」が開園。

年 号	西 暦	で き ご と		
平成 12.	2000	狭山市新老人保健福祉計画・介護保険事業計画を策定。		
		3. さやま福祉プラン 21 を策定。		
		3. 狭山市都市計画マスタープランを策定。		
		4. 1 県内初のエコスクール・入間川小学校が開校。		
		4. 市内全域でペットボトルを収集。		
		5. 6 全米さくらの女王（ジュリアン ダンさん）と日本のさくらの女王（安田 繭さん）が入間川河川敷にソメイヨシノを記念植樹。		
		6. 1 狭山市規格葬儀制度を実施。		
		6. 9 I S O 1 4 0 0 1 の認証を取得。		
		8. 5～6 入間川七夕まつりを 8 月第 1 土曜日・日曜日に開催。		
		7. 10 福祉の店（みちくさ）がオープン。		
		7. 10 福祉作業所（コパン）の開所式が行われる。		
		7. 24 狭山市子どもの虐待防止ネットワーク会議を設立。		
		10. 2 コミュニティセンターに上諏訪市民サービスコーナーを開設。		
		10. 10 狭山市シニア・コミュニティ・カレッジを開校。		
		11. 1 山王学童保育室を開室。		
		11. 2 2001	リサイクル工房展示室が第二環境センターに開所。	
		13.	2001	3. 中心市街地活性化基本計画を策定。
				4. 「緑と健康で豊かな文化都市」の実現をめざして、第 3 次総合振興計画（基本構想・前期基本計画）がスタート。
				4. 身近な「たまり場」のモデル事業としてささえあいサロン・陽だまりがオープン。
5. 16 県内初の狭山市環境 I S O 連絡会発足。				
8. 市職員の名札を顔写真入りの大きい名札に改める。				
8. 8 狭山市消防本部レスキュー隊が第 30 回全国消防救助技術大会で入賞。				
9. 学校給食に狭山産の抹茶入りのパン「マッチャくん」が登場。				
10. 3 狭山市市民健康文化センター「サンパーク奥富」がオープン。				
10. 姉妹都市のワージントン市から親善訪問団が来訪。				
11. 2 全国初の「買い物袋を持っていく日・ノーレジ袋デー」を実施。				
14.	2002	11. 3 水富地区第 2 期住居表示実施（広瀬 1～3 丁目、鶯ノ木の一部）		
		2. 学校給食に狭山の抹茶を使用した「さやまっ茶プリン」が登場。		
		4. すこやか都市さやまの実現をするため、健康日本 21 狭山計画がスタート。オリジナル「すこやか体操」を製作。		
		4. 家庭から出る生ごみを収集し、有機肥料の資源として活用とするための、生ごみリサイクル事業を開始。		

年 号	西 暦	で き ご と
平成 14. 5.	2002	学校給食に市内産の米を使用開始。
6. 2		毎月 2 日を「ノーレジ袋デー」として決定。
8.		ワージントン市の少年野球チームが来日し、親善交流試合を開催。
9.		青空のもとで仲間と楽しく健康づくりを目指して高齢者のための「青空サロン」を開設。
10. 1		行政課題の早期解決に積極的に取り組むため、組織改正を実施し、プロジェクトチームを設置。
11. 2	2003	水富地区第 3 期住居表示実施（根岸 1・2 丁目、笹井 1～3 丁目）
15. 2. 8		豊水橋が 74 年ぶりに架け替えられ、渡り初めが行われる。
3.		「みどりを友とし地球にやさしい都市・さやま」を目指して、新しい環境基本計画を策定。
6. 19		町田潤一市長が逝去。
7. 27		5 代目市長に仲川幸成氏が就任。
8. 11		狭山・所沢・入間市の消防広域組合の設立に関する協定を締結。
9.		構造改革特区（第二次認定）に外国語早期教育が認定され、小学校で英語活動が始まる。
9. 12		新狭山に親子交流施設がオープン。
10. 1		中央児童館に親子交流施設がオープン。
11.	2004	廃プラスチックの分別収集をモデル地区で開始。
16. 2. 1		入間市との法定合併協議会が設置。
4. 1		地域と行政をつなぐ総合窓口となる「地区センター」を市内 8 ヶ所に設置。
4. 1		し尿処理施設「狭山市浄化センター」の供用スタート。
4. 5		称・新都市線の一部（中央公民館前から狭山市駅上諏訪線）が開通。
4. 30		柏原新狭山線（浄化センター脇から国道 16 号）が開通。
6.		地域防犯パトロールがスタート。
8～9.		第 75 回都市対抗野球で狭山ホンダが準優勝。
9. 11～14		彩の国まごころ国体夏季大会（ボウリング競技・ゴルフ競技）を開催。
10. 18		彩の国まごころ国体大会旗・炬火リレー狭山市を通過。
10. 24～27		彩の国まごころ国体秋季大会（ソフトテニス競技）を開催。
11. 7		市制施行 50 周年記念式典を市民会館で挙行。
11. 19	2005	狭山市駅西口地区整備の都市計画を決定。
17. 1. 30		直接請求に基づく住民投票が実施される。
2. 6		こども動物園の入場者 300 万人を超える。
3. 13		東京狭山線（狭山市沢地内から国道 16 号）が開通。
3. 15		入間市との法定合併協議会が解散。

年 号	西 暦	で き ご と	
平成 17. 3.	2005	狭山市公式モバイルサイトが、市区町村で全国初となるすべての携帯電話会社の公式サイトに。	
3.		粗大ごみ処理施設とリサイクルセンターを統合する「リサイクルプラザ」の建設がスタート。	
4. 28		武州ガス（株）と狭山警察署、市の三者が「狭山市防犯のまちづくりに関する協定」を締結。	
5. 1		救急支援活動開始。	
7.		戸籍情報を電子化し、コンピューター処理することで効率的になる。	
9. 1		狭山市駅東口に有料の立体自転車駐車がオープン。	
12. 1		「上赤坂獅子舞」が無形民俗文化財に指定。	
18. 1. 18		2006	市と狭山警察署が、東京電力（株）、いるま野農協と「狭山市防犯のまちづくりに関する協定」を締結。
4. 1			市内17施設で指定管理者制度スタート。 地域包括支援センターを開設。
6. 1			奥富地区河川敷に、下奥富運動公園がオープン。
7. 18			狭山市公式キッズページ「さやまっ子クラブ」オープン。
7. 31			狭山市駅西口地区・市街地再開発事業の事業計画が国土交通大臣から認可を受ける。
10. 13	国道16号線・鶴ノ木交差点に新しい歩道橋が完成。		
11. 1	33業務で電子申請がスタート。		
11. 27	狭山工業団地工業会、狭山警察署と「狭山市防犯のまちづくりに関する協定」を締結。		
12. 1	天岑寺・旗本小笠原家墓所が市指定の文化財に。市指定文化財として46件目。		
19. 2. 1	2007		公式モバイルサイトのメール配信に気象情報や迷子などの防災無線情報と火災情報を追加。
3.		公式モバイルサイトの取組みが、地域づくり総務大臣表彰を受賞。	
3.		狭山市地球温暖化対策地域推進計画アクションプランを制定。	
3. 4		市内全地区にAPOC（地域防犯ネットワーク）が設立。	
3. 31		行財政改革で市立幼稚園の3園を統廃合。	
4. 1		学校支援ボランティアセンターを開設。	
4. 10		狭山市消防参集システムを本格稼働。	
5.		小・中学校や公民館などの53施設にAEDを設置。	
6. 29		第一環境センター（リサイクルプラザ）が本格運転。	
7. 1		パパ・ママ応援ショップがスタート。	

年 号	西 暦	で き ご と
平成 19. 7. 2	2007	びん・缶の出し方を変更「かご」から「袋」に。
8. 24		ホンダ硬式野球部が4年連続で都市対抗野球大会に出場。
9. 21		狭山市駅西口再開発事業所の工事が始まる（建物解体工事）。
20. 1. 1	2008	「狭山市歩きたばこ等の防止に関する条例」が施行。
4. 1		県立狭山高校の跡地に、狭山高校（全日制・定時制）と川越高校（定時制）と豊岡高校（定時制）が統合され、昼夜開講制のパレットスクールとして狭山緑陽高校が開校。
4. 1		後期高齢者医療制度スタート。
4. 1		妊婦一般健康診査の公費負担を拡充。
4. 16		I S O14001 ダイア4市の合同自己宣言。
5. 1		市内駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定。
5. 1		市税などの納付がコンビニでも可能に。
7. 18		圏央道に「狭山P A」がオープン。
8. 29		狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業の起工式と安全祈願祭が行われる。
8. 30		ホンダ硬式野球部が第79回都市対抗野球大会に出場し、3位に（5年連続出場）。
9. 1		狭山市地域職業相談室を開設。
9. 16		地元報道機関と狭山市、入間市、狭山警察署で「地域安全に関する協定」を締結。
10. 1		こども医療費支給制度がスタート（窓口払いの廃止、小学校3年生まで医療費無料に）。
10. 1		「プラスチック」の分別収集が全地区で完全実施。
10. 31		第一環境センター、リサイクルプラザが完成。（21. 1. 5 オープン）
11. 9		緑のトラスト保全第9号地「堀兼・上赤坂の森」がオープン。
21. 1. 23	2009	狭山市事業所防犯協会と狭山市・狭山警察署が「防犯のまちづくりに関する協定」を締結。
3. 19		狭山市駅西口再開発事業地区のまちの愛称が「スカイテラス」に決定。
3. 26		狭山・入間地区新聞販売組合と狭山市・入間市・狭山警察署が「防犯のまちづくりに関する協定」を締結。
		国道16号の狭山区間（鶴ノ木交差点～入間市境付近）の工事が完了し、市内全4車線化に。
4. 1		狭山市・入間市合同で、夜間の初期救急診療（19時30分～22時30分）を開始。
		こども医療費の支給対象を小学3年修了時から小学4年修了時まで拡大。

年 号	西 暦	で き ご と
平成 21.	4. 1	2009
	8. 31	入間地区の呼称を入曽地区に変更。
	9. 1	都市計画道路新狭山駅南口線が供用開始。
	10. 1	入間川学校給食センターと柏原学校給食センターが、P F I を活用してオープン。
	10. 15	第 8 0 回都市対抗野球大会で、ホンダ硬式野球部が優勝。
	11. 3	次世代自動車購入費補助制度を実施。
	11. 7	姉妹都市締結 1 0 周年を迎え、米国ワージントン市長一行が来市。
	22. 2. 1	不老川をきれいにする会が緑綬褒章を受章。
	3. 16	市制施行 5 5 周年記念式典を挙。大野松茂氏を名誉市民に推挙。
	3. 25	毎月 2 のつく日から「毎日がノーレジ袋デー」に移行。
	4. 1	「赤ちゃんの駅」事業がスタート。
	6. 14	東京電力(株)志木支社、埼玉県電気工事工業組合と災害時の防災協定を調印。
	7. 3	狭山市駅西口地区がまち開き。翌日から橋上駅舎・東西自由通路が供用開始。
	7. 12	学校統廃合（狭山台北小学校、狭山台南小学校）により、狭山台小学校が開校。
	10. 12	狭山市駅西口に産業労働センターがオープン。
	23. 2. 1	こども医療費を小学 5 年生まで無料化。
	3.	狭山市建設業協同組合と「消防活動等における応急措置等に関する覚書」を締結。
	3. 5	こども動物園入園者 4 0 0 万人を達成。
	3. 11	広瀬学童保育室が広瀬小学校内に開設。
	3. 31	市民交流促進総合ポータルサイト「(8 仮称) 狭山 C i t y N e t」が仮オープン。
	4. 1	狭山市駅西口駅前広場が完成し、供用開始。
	5. 1	第 3 次狭山市総合振興計画後期基本計画を策定。
	5. 7	入間小学校閉校式。1 3 7 年の歴史に幕を閉じる。
	6. 8	東日本大震災が発生。当市でも震度 5 弱を記録。
		市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」が本オープン。
		こども医療費を中学 3 年生まで無料化。
		第 8 回埼玉 B 級ご当地グルメ王決定戦で、初出場の「さといもコロッケ」が 4 位入賞を果たす。
		狭山元気大学が 3 学科 6 コースで開校。
		狭山市駅に新しい商業施設「E m i o 狭山市」がオープン。

年 号	西 暦	で き ご と
平成 24. 4. 16	2012	日本郵便(株)関東支社からフレーム切手「写真と童絵による狭山市入間川の風景今昔」が発売される。
5. 12		狭山元気大学が狭山元気プラザ（旧狭山台北小学校）にキャンパスを移してスタート。
7.		狭山市協働ガイドラインを策定。
7. 14～16		狭山市駅西口地区再開発事業完成イベントを開催。
7. 18		市民交流センターがオープン。
10. 1		狭山市駅西口の旧交番跡地に公衆トイレが完成。 狭山市障害者基幹相談支援センターがオープン。
10. 4		狭山市暴力団排除条例を施行。
10. 15		狭山元気プラザにコミュニティカフェがオープン。
11. 15		第1回協働フォーラムを開催。
11. 22		笹井小学校PTAが、平成24年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞。
25. 3. 24		2013
4. 1	「埼玉西部消防組合」が発足。狭山市・所沢市・飯能市・入間市・日高市とともに消防事務を共同化。	
4. 8	市長公用車に電気自動車を導入。	
4. 23	市の公式モバイルサイトのメール配信サービスに「地震情報」を追加。	
5. 1	「おりびい」が狭山市の正式なイメージキャラクターに。	
7. 8	外国人の方に住民基本台帳ネットワークシステムの運用を開始。	
11. 16	「子ども大学さやま」を新規開校。	
26. 1. 1	2014	県内初の「工業立地法地域準則条例」を施行。
1.		市役所1階窓口のレイアウトをワンフロア方式に変更。
1.		公式フェイスブックと公式ツイッターを開設。
2.		記録的な大雪。市内各所で被害が続出。
4.		「狭山シニア・コミュニティ・カレッジ」と「狭山元気大学」を統合し、「さやま市民大学」新規開校。
5. 12		スカイテラス（狭山市駅西口地区）が都市景観大賞で優秀賞を受賞。
5. 20		狭山市駅東口土地区画整理地内の都市計画道路「狭山市駅加佐志線」開通。
7. 27		「NHKのど自慢」を開催。
10. 1		スカイテラス（狭山市駅西口地区）がグッドデザイン賞を受賞。
10. 18		「市制施行60周年記念式典」を市民会館で挙げる。
11. 16	智光山公園に市制施行60周年記念の記念植樹（つつじ）。	

年 号	西 暦	で き ご と
27. 3. 31	2015	入間中学校閉校。狭山台・新狭山・柏原幼稚園が閉園。
4.		こども動物園が年間パスポートを発売開始
4 . 1		公式ツイッター「気象警報自動ツイート」に「土砂災害警戒情報」を追加。
5.		防災行政無線の音声案内をフリーダイヤル化。
6. 13		狭山台小学校で、市内初の認知症キッズサポーター養成講座を開催。
6. 29		狭山市男女共同参画推進条例を施行。
7. 12		第6代市長に小谷野剛氏が就任。
8.		狭山市プレミアム付商品券を販売。
9.		新しい堀兼学校給食センターが本稼働。
9. 27		戦後70周年狭山市戦没者追悼平和祈念式典を挙行。
10 . 1		企業立地支援を強化するため「企業立地推進室」を設置
10 . 3		狭山市初となる女性消防団員が誕生
10 . 5		マイナンバー法が施行され、狭山市でも「通知カード」の送付を開始。
10 .13		「おりびい」LINEスタンプを販売。
11 . 1		祇園地区の一部住居表示を変更
11. 15		へら鮎釣場「智光山公園 前山の池」がオープン
28. 1.		2016
2.	「狭山市公共施設白書」を策定	
3.	AR対応「狭山観光パンフレット」と専用アプリ「狭山スマートナビ」をリリース	
3	「狭山市人口ビジョン」と「狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定	
3 .31	「第4次狭山市総合計画」がスタート	
4.	市内の4大学と「連携に関する基本協定」を締結	
4. 1	東中学校が閉校。54年の歴史に幕	
4. 1	「ふるさと納税返礼品制度」がスタート	
6 .23	副市長に松本晴夫氏が就任、教育委員会委員長に向野康雄氏を任命 自治連合会、狭山警察署と「狭山市犯罪情報の住民提供等に関する協定」を締結	
7	映画のロケ地となった教室（旧入間中学校）を公開	
7	狭山市西口駅前広場にスマートフォンで動画が見られるデザインマンホールを設置	
7. 1		
7. 25	「2020年東京オリンピック」の事前キャンプの開催地に立候補	

年 号	西 暦	で き ご と
8		入間川地区センターでパスポートの申請受付・交付業務を開始
8. 1		日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結
11.		「ラグビーワールドカップ2019」の公認チームキャンプ地に立候補
		狭山市初の「狭山市情報政策官」を任用
11.		市と大学の協定に基づく事業として、大学生が「狭山の魅力づくりに取り組むプラン」を市長に発表
29. 1. 19	2017	株式会社ロッテと「災害時におけるお菓子類に供給協力に関する協定」を締結
2. 1		住民票などのコンビニ交付がスタート
		市指定文化財に2件指定「木造薬師三尊像並びに十二神将像」「堀兼神社本殿厨子附棟札一枚」
3.		「狭山市公共施設等総合管理計画」を策定
		市内のモノづくり企業を紹介する「本物づくりのまち狭山市」を刊行
4. 1		「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタート
		子育て世代の移住・定住を促す「親元同居・近居支援補助金制度」がスタート
		「訪問型子育て支援事業」がスタート
4.		毎月第4日曜日の午前中に市役所の一部窓口を開設
5・24		ウォーキングによる健康づくり「おりぴい健康マイレージ」がスタート
6. 1		埼玉県産の木材を使用した「新狭山公民館」がリニューアルオープン
6.		オリンピック・パラリンピックの関連事業を実施（フラッグツアー参加、
7. 3		タグラグビー体験、ゴールボール体験）
7. 16		「宿泊型産後ケア事業」がスタート
7. 19		Honda 硬式野球部が都市対抗野球に出場
7. 26		「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に署名
		狭山茶産地10市町で「狭山茶農業遺産推進協議会」を設置
9. 13		NPO 法人エルフェンススポーツクラブと「ホームタウン・まちづくりパートナーシップ包括連携に関する協定」を締結
9. 20		日本下水道管路管理業協会と「災害時における埼玉県内の下水道管路施設の復旧支援協力に関する協定」を締結
10. 28		「モノづくり企業フェス in 狭山経済高校」を開催
11. 14		狭山市初の「国民保護実働訓練」を実施
11.		狭山市初の「ふるさと年賀はがき」30,000枚を販売

年 号	西 暦	で き ご と
30. 2	2018	市役所でプチ挙式「届け出挙式」を開催（2月22日・11月22日）
3. 11		「狭山茶グランプリ in SAYAMA」を開催
3. 13		埼玉県行政書士会を「災害時における被災者支援に関する協定」を締結
3. 26		飯能信用金庫と「狭山市における定住促進に向けた連携及び協力に関する協定」を締結
3. 26		「狭山市駅上諏訪線」が全線開通
3. 29		一般社団法人埼玉県LPガス協会西武支部と「災害時におけるLPガス等の優先供給に関する協定」を締結
3. ～		狭山魅力づくり事業「さやまスイーツフェス」（3月18日）「サマ de シネマ」（9月22・23日）「イヤマフェス外防災カフェ」（10月7日）「入間航空際パーク&ライド」（11月3日）を開催
4. 1		オリンピック準備室、トータルサポート推進室を設置
4. 14		こども動物園の来場者が555万5,555人を突破
4. 23		中央図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞
4. 28		狭山市版マンホールカードの配布を開始
4.		「入曽駅周辺整備事業基本計画」を策定
		中学3年生の英語検定検定料の全額負担を開始
		今後10年間の再編と保全への取組み「狭山市公共施設再編計画」を策定
6. 5		「狭山市特別顕彰」を創設 Honda 陸上競技部の設楽悠太選手が第1号に
6.		「入曽地区防災計画」を策定および「不老川流域防災マップ」を作成
7. 2		妊娠届出時・母子健康手帳交付時に保健師や助産師による相談が受けられる窓口を市役所1階に開設
7. 3		鳥取県と「あいサポート運動」の協定を締結
7.		狭山抹茶「明松」がフランス・パリのコンクールで金賞を受賞
		小学生を対象とした学習支援事業「ジュニアアスポート事業」が県のモデル事業に採択
8. 8		（社福）狭山公樹会、（社福）尚栄会と「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結
10.		クラウドファンディング型ふるさと納税による就学支援金支給事業を実施
		入曽地区地域交流施設（仮称）の建設工事に着工
11. 3		入間航空際の特別観覧席を用意（ふるさと納税）
11. 11		「さやまバフェス@入間川」を開催
11. 22		狭山市婚姻届を提出された方にオリジナルの「結婚記念証」の贈呈を開始
12. 3		市内循環バス「茶の花号」の運行ルートなどを変更

年 号	西 暦	で き ご と
31. 1. 4	2019	童話作家・池原昭治氏デザインの原動機付き自転車用「狭山市オリジナルナンバープレート」の交付を開始
1. 18		狭山・所沢・飯能・入間・日高の5市で「児童虐待防止に関する連携協定」を締結
1. 31		ヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結
2. 9		市立小中学校全23校の児童生徒代表が市議会議場にて「さやまっ子小中学校いじめ防止サミット」を開催
2. 14		埼玉司法書士会と「災害における被災者相談の実施に関する協定」締結
3. 12		国内初の取り組みとして、全公立小・中学校に「東京2020オリンピック・カウントダウンカレンダー」を設置
3. 28		狭山市駅東口土地区画整理事業の完成記念碑除幕式を実施
4. 1		入間川小・中学校、柏原小・中学校で「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」を開始
4. 1		埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイヤプラン）に日高市が加入
4. 1		「協働によるまちづくり条例」を施行
4. 7		埼玉県議会議員一般選挙を執行
4. 15		狭山市ビジネスサポートセンター（Saya-Biz）が産業労働センターで開始
4. 17		入間川小学校の児童と教員が新元号「令和」の人文字を作成
4. 17		市内郵便局と、地域における安全・安心に関する包括連携協定を締結
4. 21		狭山市議会議員一般選挙を執行
令和元年 5. 1		新元号を祝して、市役所庁舎に1日限定の婚約記念フォトブースを設置
5. 17		安倍晋三内閣総理大臣に狭山新茶を贈呈
6.		「NEXT 商店街プロジェクト」が新狭山北口商店街で開始
6. 1		2020年7月7日に東京2020オリンピックの聖火リレーが市内を通過することが決定
6. 24		市立小学校の4年生を対象とした「小学生学習支援事業」が開始
6. 29		智光山公園こども動物園に「ペンギンビーチ」がオープン
6. 29		博物館企画展「ざんねんな昆虫展～おもしろい！生き物の多様性～」が同
7.		館主催企画展で過去最多の入場者数（26,681人）を記録（9.8まで）
8. ～		狭山市平和都市宣言30周年にあたり、各種平和事業を実施
8. 25		埼玉県知事選挙を執行
9. 13		台風第15号の被災地へ職員が救援物資を搬送
10. 12		台風第19号の通過に伴い、市内に初めて大雨特別警報が発表される
10. 16		観光協会と市が連携し、狭山市駅と狭山市役所に狭山茶と狭山市入間川七夕まつりをデザインした「階段アート」を設置

年 号	西 暦	で き ご と
10. 24 11. 10		狭山茶の伝統的な農業システムについて、農業遺産認定に再挑戦 「第30回記念さやま大茶会」を開催